

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第40号

福山市身連通信

2020 (R. 2) 年10月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

目 次

福山市障がい者相談員協議会理事会	1
広島県身障相談員 研修会	2
福山市障がい者相談員協議会 総会	3
福山市身連 総会開催	4
一部役員更新名簿	5
年度後半活動予定	5
これまでの活動状況	6
福山市障害者プラン更新へ	6
大会表彰	7
訃報	7

福山市障がい者相談員協議会

令和二年度第一回理事会開催

日時 令和二年八月二十二日
場所 人権センター連合会事務所

令和二年度になって活動に直結する会議が開けていませんでしたが、先ず相談員理事会から開けることになりました。

理事会出席者

菅原 晃 会長
井上 佐智子 副会長
村上 友一 副会長
根本 敏太郎 事務局次長
園生 浩治 事務局次長
大村 徳子 会計
杉原 瑞枝 理事
大成 敏正 理事
種本 益明 監事 のほか交代
された門田 潤美さんも出席
五人の欠席者は会長等に委任。

今年度相談員は更新されましたので新しく相談員になった人も十

人ほどいて、通常だと新任者のためにも任命した福山市が相談員の役割とか心得などの研修会を開きます。しかし今年度は市から身分証と公共施設等の冊子が送られて研修会はコロナでありませぬの通知のみでした。

毎年六月頃に研修会が有り、同時に市の指導で作られた相談員協議会の総会を開くことになっていましたが、そのあたりの話は全く引き継がれてなく、連合会が質問しても分かってないようでした。

コロナがあるのでこれ幸い研修会は延期でなく中止で、相談員への対応は終了のようでした。

しかし相談員協議会としては会費に会費を徴収して運営している団体として、総会を開いて前年度の報告や今年度の計画についても

決定し、会費のこともあり市の研修と同じく中止とはいきませぬので開催について模索していました。そこへ県身連から毎年相談員の研修をしているが今年度は広島で県下の相談員を集めて1ヶ所での計画でしたが、コロナ対策で県内何力所かで研修に変更し、県東部は福山で研修を行うため会場を確保して欲しいと連絡があり、参画センターに予約が取れましたのでこの機会に総会を開けるよう理事会を招集して準備に入りました。

日程を八月二十二日に絞り、会議室を予約しようとしたのですが、自粛が緩和されてどこの団体も一齐に予約していて取れなく、人数が多くないので事務所での開催として事務次長が案内を出し、結果十四人の役員のうち九名が出席できると返信があつて、ボランティアを要請して開催できました。

当日午後事務所であるべく「蜜」にならないように座り全員マスク着用で、交代で理事になってもらう杉原さんに門田さんが付き添って出席してくれました。この理事会に活動内容の異なる知的や精神

の理事が欠席でそのあたりの活動の情報がおぼないままの開催となりました。その中で知的の理事の高橋さんが家庭の事情で交代の人を総会までに決めておくとおっしゃるようです。

定刻前に出席者が揃い、会長が開催のあいさつをして議事に入り相談協の事務を全面的に担当してこの理事会の資料作りもしてくれたい園生事務次長にその資料について説明してもらい、審議になりました。元々資料は年度初めに作っていて、予定の行事がいくつも中止等になっていますが、それに追加・修正しての予定やそれに伴う予算等を組んで提案してありました。若干の修正点を直して承認されて九月三日の総会に間に合うようこれも園生事務局長が印刷してくれました。

今集会をするには参加者の検温をしたり、マスク着用が最低限の常識で市身連でフェイスシールドや体温検査機を用意しており、相談協に必要な分ける予定などを確認して相談協の理事会を終了しました。

広島県身体障害者団体連合会

身障相談員研修会（福山）

日時 令和二年九月三日（木）午後
会場 福山市市民参画センター4階

講師 福山市障がい者支援センター クローバー

平岡 辰士 相談員

演題 「想いを訊くこと繋ぐこと」

障がい者相談員は今年度更新されて福山市では身体、知的、精神共で前回より少ない三八名が任命されました。（一名死亡退任）

福山では身体と知的、精神の三部門の相談員が一緒に相談員協議会を作るよう指導され、活動内容はだいぶ異なりますが同じ団体となっています。

しかし 身体 の相談員は県知事から任命されていた頃から県内の相談員は県身連の会員になり、年間千円の会費を収め、研修に参加することになっています。

今年度県身連は年末頃県下の相談員を広島市に集め研修予定だったようですが、他の行事同様会合は

三蜜を避けるようにコロナ対策を求められて検討し、県内5ヶ所に分けそれぞれ地元で研修会を開くことに決められました。

県東部地区では福山で予定するので会場を確保して欲しいと県身連から福山市身連に連絡があり、福山参画センター会議室を予約し九月三日に研修会と決まりました。

福山会場へは福山、府中、神石高原の相談員が対象で福山の身障相談員は今年二八名でその大多数と府中の五人その他二人が参加して開催され、福山社協の相談支援センタークローバーの平岡辰士相談員を講師に相談に対する心構え等について学びました。

福山市身連はこの相談員研修会と次に開催する市身連の総会に備えてコロナ対策のため体温検査機とフェイスシールドを用意することに決めましたので、今回も入口で参加者の検温をしてマスクは全員着用していますが、会議中フェイスシールドを使用してもらった。福山市の会員に配り対応しました。

講演は平岡氏自身今福山市社協

の相談員となる前は府中市にいて同じような業務をされていたそう
で、主に知的のある人の支援に行きついたらと記されています。

その頃の体験や学生時代に見聞きして感じていたことで、年を重ねて今自分が信条としてしていることについて話されました。

相談を受ける者としては、先ず本人の気持ちや障害状態をよく理解するために気持ちの通じ合える関係を築き、本人の最も望んでいることをよく理解して、その対応と一緒に考える間柄になることが非常に大切であるとの話でした。

作ってこられた各ページ横文字の多い資料には虐待防止とか国民に訴えるべきことなど他のことも入っていて、時間の制限があるので話しきれないということは何度も言われていました。初めて出会う相談員によって相談者の人生が変わることもあると言われましたが、障がい者相談員は自分自身障害者であり、他人の相談にそこまですぐ真剣に取り組み対応できることはそう多くないのではとも思われます。



福山市障がい者相談員協議会

新年度総会 開催

日時 二〇二〇年九月三日(木)
会場 福山市参画センター四階

福山市相談員協議会は例年六月頃総会を予定して準備しますが、今年度は年度初め会合の自粛でできず、その後自粛が解除されても毎年予定されている福山市の研修会の対応が確認できず困惑していましたが、県身連の相談員研修会が各地区で予定されこの機会に開催をすることになりました。

県の研修は身体が対象なので三時までの研修に引き続き、知的や精神の相談員には三時半からと通知していただきましたので、研修会終了後この人たちも検温して入室してもらいました。

今年度相談員は更新されましたが二年ごとに更新される度に身体的や知的の相談員は減少しており少々寂しい集まりになりました。これも身体の一部では母体となっている障害者協会が市内南部・北部で人

口減少と共に団体として立ち行かず消滅し、そこから推薦される相談員がいなくなり、又相談員だった人も高齢のため引退されその補充が十分できないためです。

しかし平日開催の行事ですが、仕事で来れない人以外ほぼ出席があり、委任もあつて総会は問題なく成立となりました。

総会は県身連の研修機材を搬出されると同時に開会し、研修会では前川県身連副会長の挨拶で始まりましたが、総会は先ず菅原会長の挨拶で始まりました。

この資料は全て園生事務次長が揃えて出席者に配られ、議長選出で今年度相談員を引退しましたが役員として名前が残っている村上が当たることで会員に図り、了承をえて議事に入りました。

議事は先ず前年度の報告で、昨

年度はコロナの影響もなく活動に何の問題もなく平常の日程で行われており、園生事務次長が事業報告をし、続いて大村会計が決算報告をして監査報告をしたあと一括で質疑に入りしましたが、これらに何の質問もなく承認されました。

続いて今年度の事業計画と予算の案が提案され、これらの原案は年度当初に作成し、この九月までの変更事項を示し、多少修正して提案していますが、これからもコロナ次第でどのように変わるかも執



行部自体わかりませんので、事務局長がそのあたりの説明をして会員の承認を求め決定となりました。

総会が開けて会員の会費で運営している協議会なので執行部は是非とも総会だけはやりたかったので肩の荷が下りた心境だと思えます。

今年度はコロナのため人と人が会うことが自体が問題のように言われるので相談員活動もこれまで以上に難しい活動になることが予想されますが、相談があつた時は精一杯対応してください。

一部役員の変更

- 辞任 顧問 鎌刈 拓也 (加茂)
- 辞任 理事 藤原 信弘 (加茂)
- 以上二名は協会解散相談員引退
- 辞任 理事 門田 潤美 (ろうあ)
- 新任 理事 杉原 瑞枝 (ろうあ)
- 辞任 理事 岡 優範 (精神) 引退
- 新任 理事 北村 環 (精神)
- 以上は理事の交代
- 他に辞任 相談員 小川愛二 (死去)

福山市身体障害者団体連合会

令和二年度通常総会開催

日時 令和二年九月二十日午後
会場 福山市人権センター会議室

福山市身連としては四月に理事会を開いて以来世間が自粛自粛で会合もできなくなったためけじめの総会が開けなく、その上年度初めの大会等の行事が全て中止になりどう活動するか困惑する年度となりました。

コロナウイルスは短期で収まるものではなく、どう対応しながら動くかしかないようですので連合会でも体温測定器やフェイスシールド等を用意し会合にはマスクを必ず着用して会合をしますが、それでも公共施設の使用制限が多く年度前半は活動らしい事ができませんでした。

総会が開けることになりました。年度半ばの総会開催でこの時期の新年度総会は初めてで、しかもコロナの心配は続いている中の総会で懸念された通り出席率は伸び悩みましたが、欠席者はほとんど委任状があって開催の心配はありませんでした。

九月二十日、人権センター四階の会議室を会場に午後から要約筆記等の準備をしてもらい、参加者の体温測定をして会場を開けて、もちろん全員マスクの開催となりました。

定刻になり先ず出席の確認をして総会の成立を宣言し、物故者に黙祷を捧げて、菅原理事長が開会の挨拶をしたあと今回の議長を選出し、議事録署名人二名を指名して議事の用意が出来ました。



議長に選出された視覚の大成理事が不慣れですがと挨拶をして議事の進行をし事務局等担当から議案を提示するよう指示して、先ず事業報告等三案を一括して提示しそれから質疑に入りますということで、事務局長が欠席通知だったので、根本局長が録音での報告を用意しており、当日坪山次長が出席しましたがそのまま録音で発表し、続いて会計から決算報告で税

理士事務所からの活動計算書とそれだけでは行事別の支出がわからないので、行事別の決算書とともに説明し、園生監事が監査報告をして、議長から質問を受けますと問いかけましたが、昨年度は何の問題もなく行事が行われており、質問なしで拍手を持って承認となりました。

ここで事務局から新年度計画の前に議事6号の理事の交代・辞任を先に提案したいと発言があり、その案を承認して、ろうあの門田理事が杉原理事に交代で両名に挨拶をもらい次の新年度の提案になり、これは四月の理事会で承認されたものを少し修正したもので、前半の行事はほとんど中止でこの後の行事を極力しようと計画を入れ、予算も四月に税理事務所昨年を参考に作成されたものですが、これは年度途中修正が難しく、このまま了承されることをお願いする状態でしたが、議長から何か意見があればとの問い掛けに特になく承認されました。今後の活動に極力参加されるよう要請して総会を終了しました。

39号でお知らせした役員が少し変更となりましたので改めて掲載します。

福山市身体障害者団体連合会 役員名簿			
令和2年一部変更役員			
役名	氏名	電話・FAX	所属&役職
理事 顧問	前川 昭夫	959-0781	視覚協会
理事 相談役	江草 忠儀	926-4305	福山協会
理事長	菅原 晃	954-1937	車イス協会
副理事長	井上 佐智子	F 951-6365	福山市難聴・中途失聴者協会 会長
理事・事務局長	根本 敏太郎	920-5323	視覚協会 F920-5324
理事・事務局次長	坪山 明生	936-0566	福山市車イス福祉協会 会長
理事・会計	村上 友一	921-1399	福山協会
理事・出納係	大村 徳子	951-3103	福山協会
理事	種本 益明	953-5861	福山市身体障害者福祉協会 会長
理事	三島 茂	0847-51-3330	新市町
理事	大成 敏正	952-1923	福山市視覚障害者福祉協会 会長
理事	杉原 瑞枝	F 951-2508	NPO法人 福山市ろうあ協会 理事長
監事	鴨田 弘道	978-0550	駅家町
監事	園生 浩治	962-0616	神辺町身体障害者福祉協会 会長
市身連事務所		961-4733	人権交流センター内

今後の連合会活動予定

今年度は年度が始まると同時にコロナウイルスのために活動自粛となったため予定や計画していた行事が軒並み中止・延期となってこれまで毎年参加していた全国大会、中四国大会、広島県大会、障害者陸上大会が中止され、前半は活動がほとんどできませんでした。今後コロナ次第ですが連合会の活動を出来るだけ頑張っていくよう行事を計画しますので会員各位の参加をお願いします。

10月	歌声サロン	人権センターホール
11月	アウトドア交流会	福山ふれ愛ランド
12月	ボウリング大会	コロナキャッスルボウル
R3年2月	ハートフル文化祭	人権センターホール

等の行事を計画しています。詳しい要項が決まり次第皆様にご案内します多数のご参加をお待ちしています。

令和二年度前半連合会活動について

桜咲く四月を迎え世の中は新しい年度にいろいろ希望を持って活動を始める時でしたが、その矢先コロナウイルスの蔓延を防ぐため小・中学校初めすべての教育の場が休校になり、社会生活も三蜜を防ぐため自粛、自粛と集会も移動もできなくなり、我々の団体も例年ですと先ず理事会、そして総会をして年間の活動を決めて動き始めるのですが、これが出来ずなんと中途半端な年度入りになりました。そして年度入り直前の三月末日に、今年広島県の障害者団体としては最大の行事と力を注いでいた広島での全国大会が中止と決定しましたの連絡が入りました。

この頃福山には感染者はいなく行事の中止や自粛は本来に必要なのかと疑問を持ちながら5月の連絡会を中止しました。そのうち広島や福山にも移動者により感染が出るようになりましたが、2ヶ月ほどで社会を動かす必

要のためと自粛が緩和されましたので、七月から連絡会だけは会場の換気をしながら消毒やマスク着用で開催して会員との連絡だけは取れることができました。その間の動きを載せておきます。

- 五月 福山市身連總會（人権） 延期
県障害者陸上大会（尾道） 中止
- 六月 全国福祉大会（広島） 中止
福山市相談員研修会 中止
市相談員協議会總會 延期
- 七月 連絡会再開 議事
総会日程の検討、年会費の検討（今年度免除）、相談協總會の検討、役員一部変更 等
- 八月 招待ボウリング大会 中止
連絡会 議事
会合のため体温計等購入
今後の活動を検討
- 相談協 二二日理事会、總會準備

新たな対策も加えて

福山市新障がい者プラン案公表

福山市から我々市身連の事務所福祉計画に関する会合について連絡が届いていました。その後やはりコロナウイルスのことで変更があるよう通知がありました。その後のことが不明になっていきました。それと関係があるかと思いますが、福山市では五カ年の福山市保健福祉総合計画と三カ年の福山市障がい者福祉計画が、この2020年度でどちらも終了することになるため、これを一つにして六カ年のプランとして今年度中にまとめることになるとのようです。

このプランは2021年から2026年の福山市の障害者施策の基本方針や障害福祉サービスの需

要予測、その成果目標等について決めていき、そのうち障害児通所支援提供などについては、国の基本方針に基づいて前半が終わった時点で再検討されるようです。

今その骨子案が公表されていますが、それには、基本理念、基本目標、施策展開等五部構成で概要を示し、その中には新型コロナウイルスの感染対策も「感染症対策の推進」として盛り込まれているようです。

プランの中には介護保険計画の基本方針にも添って、福山でもここ何年も続く水害等の災害時の支援策も盛り込むことも考えられるようです。

これらについて十一月までに素案を作り、十二月にパブリックコメントを実施して来年度末までに市長に答申、策定となるようです。

障害者施策の幅が広がることはいろんなことに対応となるのでいいことですが、我々身体の障害者の対応はどこにあるのか探すようなプランでないことを祈っています。

令和二年度 障害者福祉大会等の表彰について

今年度第65回日本身体障害者福祉大会が広島市で開催されることが予定されていて、その大会で日身連会長表彰が有り全国から52名の候補が決定されていましたが、コロナウイルスで開催が中止となったので各県身連に日身連から表彰予定者の表彰状が届けられました。広島は2名で
尾道市身体障害者連合会 会長 森下 美和氏 と
広島盲ろう者友の会 代表 大杉 勝則氏 の二人に表彰状が伝達されたようです。

又例年の県大会の表彰について福山市身連でも事務局から大会が出来た時に備え候補者を出せるように準備を通達しておりましたが、広島県大会も今年度中止、予定の三原市で来年開催のように変更になりましたので、県身連の連絡では今年の候補者を来年に表彰するにしたいと言われ、もし来年まで待てない人の場合、表彰状を送ることも考えますという事だったようです。福山は来年に候補を出すことにしました。

訃 報

福山市身連が法人化する前から福山市連合会の加盟団体であった松永町身体障害者福祉協会の解散前の会長を務め、協会解散後も唯一松永町の会員で市身連の理事や障害者相談員として活動されていた、本郷町の小川愛二氏が7月1日に逝去されました。

連合会としては会則に則り香料を供え、弔電を送らせていただきました。長年の連合会活動ご苦労様でした。松永町や加茂町の会員がいなくなることは連合会として寂しい限りです。
安らかなご冥福をお祈りいたします。

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧いただけます。